



[付属品] CFカード(工業用) 128MB ACアダプタ
(テストデータ・サポートソフト・音源ライブラリ収録)



サポートソフト iMAX Editor [無償配布]

- ・音声付触知案内板(点字案内板)
- ・音声付施設案内板
- ・音声付観光案内板
- ・音声付来客案内板

音声・音源データの登録・変更が手軽にできます

- 誘導音再生機能(インターバル)
- モーションセンサ(反射型赤外線センサ)対応
- 案内板紹介メッセージ1回再生機能
- 音声案内-押しボタン用 16接点
- 案内板用専用モード搭載
- 5Wスピーカーアンプ搭載
- ライン出力 600Ω不平衡(ミニジャック)
- スクリューレス端子台仕様
- 280W×150D×40Hmm
- AC100V/DC+24(12)V-2 電源対応
- 付属品 CFカード工業用 128MB/ACアダプタ
- サポートソフト iMAX Editor
[付属品 CFカード内収録/無償配布]
- RoHS 指令準拠品/PSE 対応
- iMAX-HA3 後継機(サイズ・制御互換)
- WAV2500 後継機

商品概要

iMAX-F3-H1 は音声付の案内板・触知案内板・観光案内板用・来客案内板の再生ユニットです。本ユニットを使用することにより誘導音インターバル再生、モーションセンサ対応、音声案内押しボタン 16点の音声付案内板が手軽に製作できます。音源に「WAVEファイル」採用、無償 WEB 配布のサポート iMAX Editor による音声データの製作・登録は手軽にできますので単品・少量、設置場所により音声案内メッセージ内容が異なる触知案内板の再生部に最適です。音声データの追加変更も CF カード差し替えでも対応できます。

主な使用用途

- 各種案内板の音源・制御部
 - ・音声付触知案内板(点字案内板)
 - ・音声付施設案内板
 - ・音声付観光案内板
 - ・音声付来客案内板
- RoHS 指令/PSE 規制対応機
- iMAX-HA3 後継機(サイズ・制御互換)
- WAV2500 後継機
- 他社製品の後継機

特長

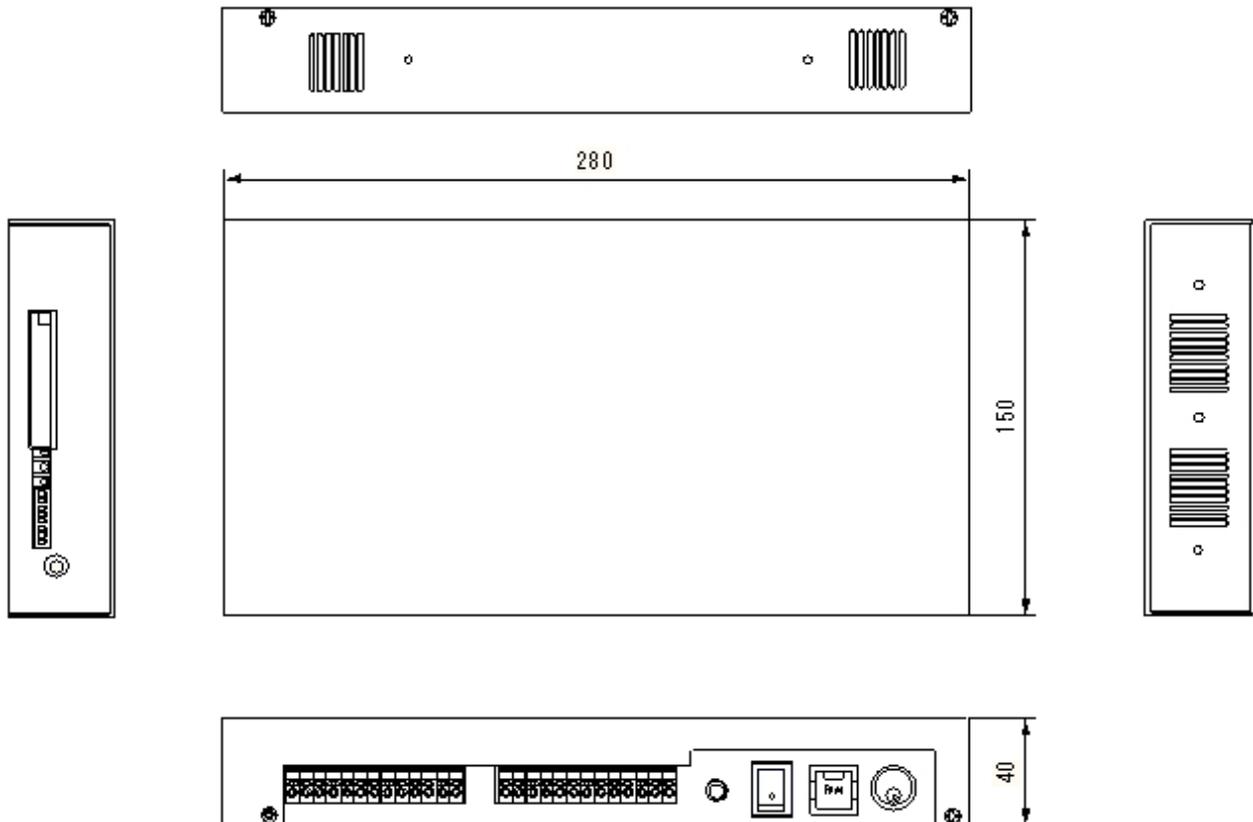
- RoHS 指令対応品/PSE 対応品 (ACアダプタ/DC電源)
- サポートソフトによる音声・音源データを登録・変更
- 音源に WAVE ファイル採用
- 高音質サンプリング 44.1/22.05KHz 16/8Bit Mono
- 記憶媒体に CF カード採用 128/256/512MB・1GB
- 自己復旧機能(ウォッチドックタイマリセット)
- サポートソフト iMAX Editor [無償配布]
- スタジオ録音・WAVE ファイル作成サービス
- 280W×150D×40Hmm
- AC100V 電源/DC24(12)V-2 電源対応
- 付属品 AC アダプタ/CF カード(工業用) 128MB
- 音声案内-押しボタン用 16接点
- 誘導音インターバル再生
- モーションセンサ(反射型赤外線センサ)対応
- FA 仕様(フォトコプラ入出力)
- 16CH-接点制御
- 専用モード搭載
- スピーカー出力 5Wmax. 8Ω
- ライン出力 600Ω/0dBm 不平衡(ミニジャック)
- 44.1/22.05KHz 16/8Bit Mono
- CF カード 128/256/512MB・1GB
- 登録時間 22/44/88/176分

定格使用電圧	AC100V 50/60Hz (注) 付属品 ACアダプタ使用 または DC+24V±5% (または DC+12±5%) スクリューレス端子台																				
消費電流	ACアダプタ使用時 待機時 約6W 最大時 約22W (注) 付属品 ACアダプタ使用時 [DC電源の場合] DC+24V時 待機時 約75mA 最大時 約480mA DC+12V時 待機時 約70mA 最大時 約240mA																				
寸法・重量	280W X 150 X 40H mm 突起部含まず 約1Kg																				
ケース塗装・仕上げ	スチール ブラック																				
使用環境	-5℃～55℃ 35%～80%RH(但し結露なき事) (保存時) -10℃～70℃																				
再生方式	WAVE ファイル(PCM) 44.1/22.05/11.025KHz 16/8Bit mono (32/16/12.8/8KHz 16/8Bit モノラル)																				
再生帯域	300Hz～10KHz																				
制御方式と チャンネル数	案内板仕様により専用モードを DIPSW で設定 <ul style="list-style-type: none"> ■案内板用1 押しボタン-16 接点 ・誘導音(メッセージ)インターバル再生機能 誘導音(メッセージ) 4 データ max. 内 1 データを DIPSW で設定 インターバル:0/5/10/15 秒 DIPSW で設定 ・音声案内押しボタン用接点端子 16 点 (フォトカプラ入力) 停止押しボタン用接点端子 1 点 (フォトカプラ入力) /SW1～16/STOP 無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ OUT /BUSY /ALM オープンコレクタ出力(DC+35V,500mA) ■案内板用2 人体検知センサ対応 押しボタン-16 接点 ・誘導音(メッセージ)インターバル再生機能 誘導音(メッセージ) 4 データ max. 内 1 データを DIPSW で設定 インターバル:0/5/10/15 秒 DIPSW で設定 ・音声案内押しボタン用接点端子 16 点 (フォトカプラ入力) 停止押しボタン用接点端子 1 点 (フォトカプラ入力) /SW1～16 /STOP 無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ OUT /BUSY /ALM オープンコレクタ出力(DC+35V,500mA) ・モーションセンサ対応機能 モーションセンサ検知中のみ音声案内押しボタン用接点端子有効 (案内板の前にはないと音声案内押しボタンが有効にならない) モーションセンサ検知再開防止タイマ 0/5 秒 (センサ検知エリアの短時間複数の入退防止・誘導音がすぐ再生しない) [推奨モーションセンサ] 反射型赤外線センサ 松下電工 MA モーションセンサ 1m 前後 または相当品 ・案内板紹介メッセージ再生機能 モーションセンサ検知時に 1 回再生します。 ■テストモード (電源 ON 全データ順番再生) CF カード内の登録してある音声・音源データの確認用。 本ユニットの再生機能、コントロールモード動作確認用。 																				
適用メモリカード	[付属品] CF カード(工業用) 128MB 1 枚 (22 分 max. 44.1KHz16Bit Mono 時) CF カード 128/256/512MB/1GB 1 枚 max.																				
登録時間	CF カード容量と登録する WAVE ファイルのサンプリングモードによる <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">カード容量</th> <th colspan="2">サンプリングモード</th> </tr> <tr> <th>44.1KHz 16Bit mono</th> <th>22.05KHz 16Bit mono</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>128MB</td> <td>22 分</td> <td>44 分</td> </tr> <tr> <td>256MB</td> <td>44 分</td> <td>88 分</td> </tr> <tr> <td>512MB</td> <td>88 分</td> <td>176 分</td> </tr> <tr> <td>1GB</td> <td>176 分</td> <td>352 分</td> </tr> <tr> <td>2GB</td> <td>352 分</td> <td>704 分</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)32/64/512MB 1/2MB や 8Bitデータ可。混在サンプリングモード再生可</p>	カード容量	サンプリングモード		44.1KHz 16Bit mono	22.05KHz 16Bit mono	128MB	22 分	44 分	256MB	44 分	88 分	512MB	88 分	176 分	1GB	176 分	352 分	2GB	352 分	704 分
カード容量	サンプリングモード																				
	44.1KHz 16Bit mono	22.05KHz 16Bit mono																			
128MB	22 分	44 分																			
256MB	44 分	88 分																			
512MB	88 分	176 分																			
1GB	176 分	352 分																			
2GB	352 分	704 分																			

VoiceNavi

再生時間	登録音源時間(WAVE ファイル)合計時間 またはサポートソフト iMAX Editor 上でプログラム登録した場合、その内容による	
音声・音響出力	スピーカー出力	5Wmax. 8Ω
	ライン出力	600Ω 不平衡 0dB (工場出荷時)
音量調整	スピーカー出力	シャフト付可変 VR
	ライン出力	本体内蔵ボード上の半固定 VR -6.5dBm~7.5dBm
適用サポートソフト	サポートソフト iMAX Editor [付属品 CF カード内収録/無償配布] [プログラム機能] 1 アドレス(端子) 組立再生 4 データ max. リピート回数 5 回 max.	
付属品	AC アダプタ 1.5m コード 1 個 PSE/RoHS (IN 100V 50/60Hz OUT DC+24V 1A) CF カード(工業用) 128MB 1 枚 [収録データ] サンプルデータ・サポートソフト VoiceNavi Editor 音源ライブラリ ブザー・チャイム音など効果音・擬音他	
オプション	CF カード(工業用) 256MB/1GB RoHS 固定金具 IMAXF3-KANA01 水平 RoHS 固定金具 IMAXF3-KANA02 縦 A RoHS 固定金具 IMAXF3-KANA03 縦 B RoHS	
その他	サポートソフト iMAXEditor 上でアドレス(接点端子)毎に下記のプログラム登録ができます。	
	・フレーム(組立)再生登録	1 アドレス(接点端子) 4 データ max.
	・リピート回数登録	1 アドレス(接点端子) 5 回 max.

外観図

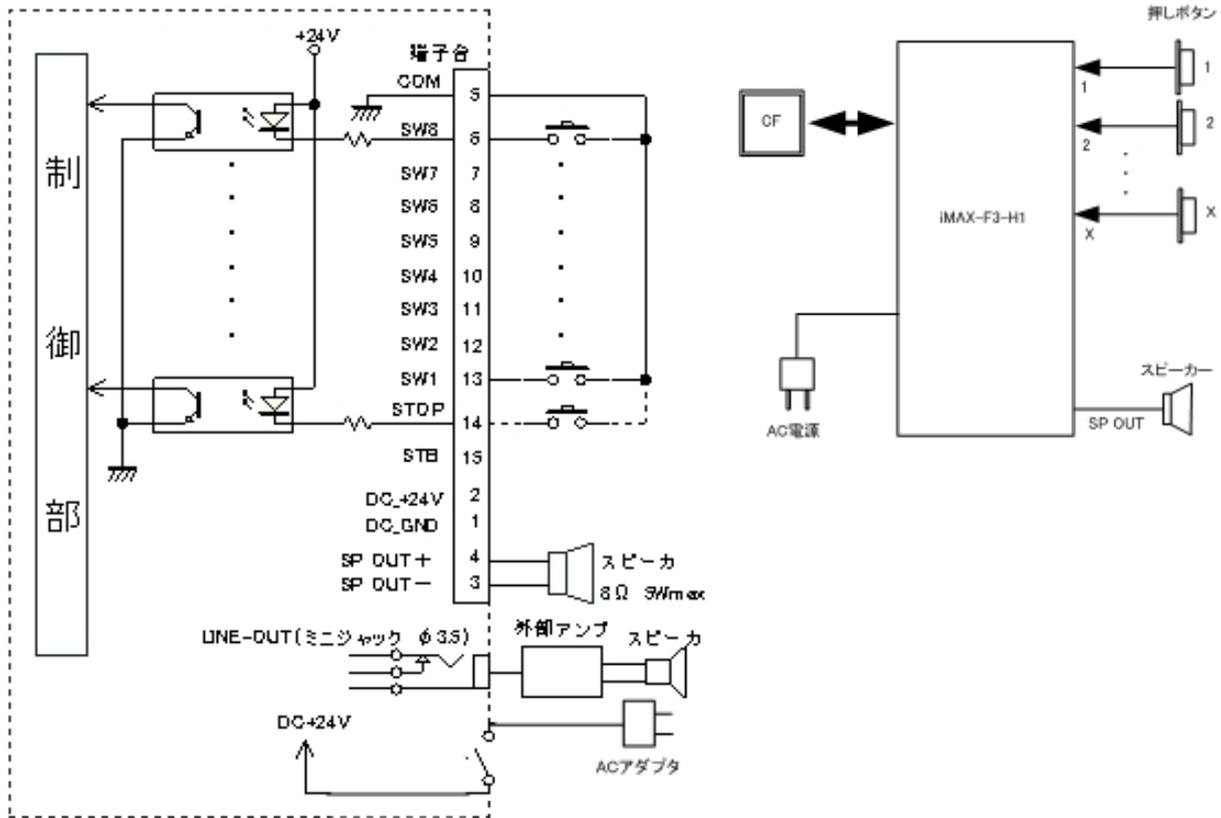


[固定・設置方法]

据置、ネジ止め、取付金具(オプション)などを使用して固定または設置します。

■接続参考図

●人体検知センサを接続しない場合(誘導音インターバル再生使用)



■押しボタンの選択

既存の触知案内板・観光案内板などで使用されているボタンを参考にして下さい。

雨水がかけられそうな場所に設置する場合、防滴仕様の押しボタンをご使用下さい。

[ボタンメーカー] オムロン IDEC 日本開閉器 フジソク サンミュロン ミヤマ他
(接点構造) モーメンタリ式(ワンプッシュタイプ)

■スピーカーの選択と音量(音圧)問題

実際には接続するスピーカーの効率、スピーカー穴。設置方法で音量(音圧)は大きく異なります。また登録してある音源内容でも聴感的に大きく感じます。

●スピーカー穴や設置方法 既存の触知案内板や銀行 ATM などのスピーカー穴を参考にします。

●1W または 2W クラスのスピーカーを接続する場合 必ず、音量ボリュームを絞ってご使用下さい。

●スピーカーの音量(音圧)

0.5W 銀行 ATM 音量 (周囲がうるさいと聞きづらい) 2W 安価 CD ラジカセ 最大音量

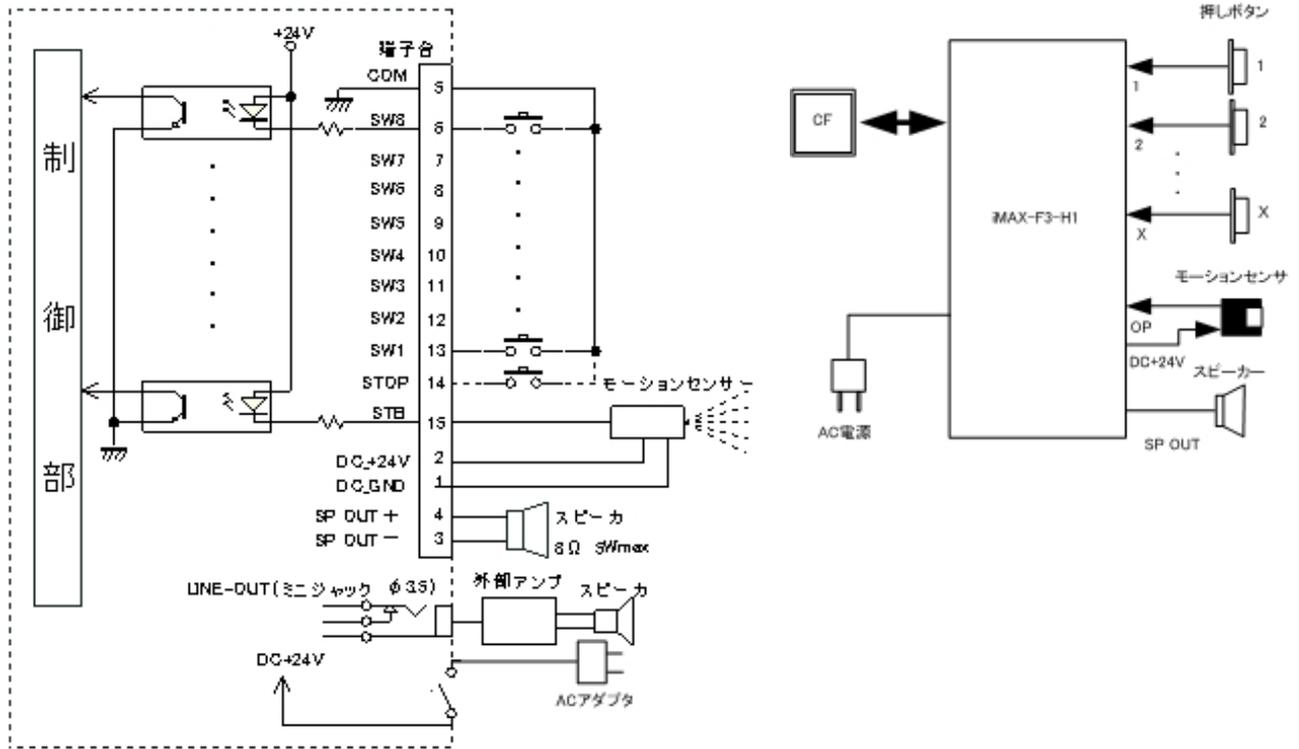
5W 通常、うるさくて聞いてられない (騒音下ではこのクラス)

■作動時間の制御 (夜間、使用しない場合)

市販 24 時間タイマーや週間タイマーで AC 電源 ON/OFFを行います。

または本ユニットの STOP 端子に信号入力中は再生停止します。

●人体検知センサを接続する場合



■反射型モーショセンサ(反射型赤外線センサ)について

センサに関しては検知距離や指向性・検知条件をしっかりと理解する必要があります。

iMAX-F3-H1 のコントロールモード2 では反射型赤外線センサ 1m 程度を前提にしています。(1mに限定しない)

[モーショセンサ] 松下電工 MA モーションセンサ 1m または相当品

反射型赤外線センサは周囲温度に関係なく、検知距離・指向性精度が高いセンサです。(障害物不可)

■焦電型モーショセンサ(遠赤外線センサ)について (注)電源 ON 後 30 秒間 -センサ動作安定化時間

センサに関しては検知距離や指向性・検知条件をしっかりと理解する必要があります。

特に焦電型モーショセンサ(遠赤外線センサ)は障害物があっても人間・動物を検知できる優れたセンサーですが、周囲温度により検知距離が左右されます。通常、室内温度が体温より非常に低温になれば検知距離が延び、体温に近いとほとんど検知しません。

また電源 ON 後 30 秒間程度のセンサ動作安定化時間が必要です。

iMAX-F3-H1 は電源 ON 後、30 秒間は信号入力を検知しないようにしています。

■案内板・触知図板(点字案内板) 製作例

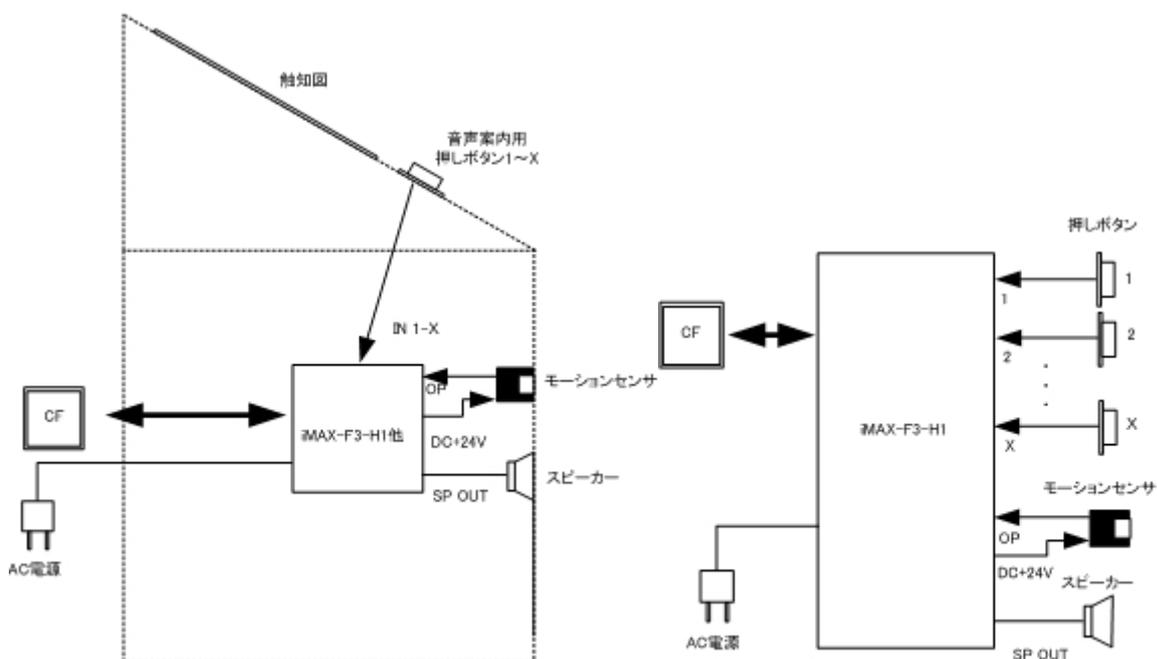
触知図、点字案内板などは自社でご用意下さい。

iMAX-F3-H1 を採用する事により、上記の触知図、点字案内板にインターバル再生する誘導音+押しボタンによる音声案内を付加することができます。



■案内板用の推奨再生ユニット

使用用途	推奨再生ユニット
インターバルの誘導音を必要する場合	iMAX-F3-H16 (注) 誘導音のみの場合は安価な iMAX-F2 推奨
モーションセンサー接続する場合	iMAX-F3-H16
インターバルの誘導音を必要しない場合	iMAX-F2(入力点数 8) iMAX-F3(入力点数 16) WRX-6F1 (入力点数 8)WRX-8F2(入力点数 4) WRX-8F2(入力点数 16) [再生モード] 通常再生モードまたは後入力切替再生モード



■iMAX-F3-H シリーズの音源データの登録について

サポートソフト iMAX Editor 上で下記の通り、音声・音源データを登録し、カードデータを作成します。

(注) 通常の iMAX シリーズと登録方法が異なりますのでご注意ください。

[サポートソフト iMAX Editor 上の音声・音源データ割付]

外部接続機器	内容	サポートソフト iMAX Editor TOP 画面					
		No.	R	1	2	3	4
SW1	押しボタン 1 用メッセージ	1	1	A001	E001	F001	
SW2	押しボタン 2 用メッセージ	2	1	A002			
SW3	押しボタン 3 用メッセージ	3	1	A003	:		
SW4	押しボタン 4 用メッセージ	4	1	A004			
SW5	押しボタン 5 用メッセージ	5	1	A005			
SW6	押しボタン 6 用メッセージ	6	1	A006			
SW7	押しボタン 7 用メッセージ	7	1	A007			
SW8	押しボタン 8 用メッセージ	8	1	A008			
SW9	押しボタン 9 用メッセージ	9	1	A009			
SW10	押しボタン 10 用メッセージ	10	1	A010			
SW11	押しボタン 11 用メッセージ	11	1	A011			
SW12	押しボタン 12 用メッセージ	12	1	A012			
SW13	押しボタン 13 用メッセージ	13	1	A013			
SW14	押しボタン 14 用メッセージ	14	1	A014			
SW15	押しボタン 15 用メッセージ	15	1	A015			
SW16	押しボタン 16 用メッセージ	16	1	A016			
		:	1				
(センサ検知時、1 回のみ再生)	触知案内板の紹介メッセージ	20	1	C01			
DIP SW で 1CH を選択	誘導音 01	21	1	B01			
	誘導音 02	22	1	B02			
	誘導音 03	23	1	B03			
	誘導音 04	24	1	B04			
		25					

[プログラム登録について]

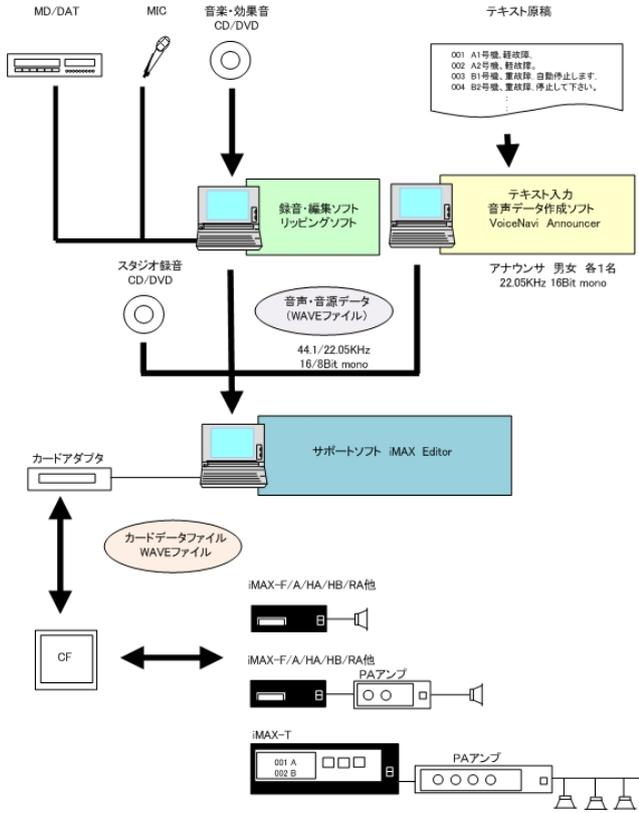
サポートソフト iMAX Editor 上でアドレス(接点端子)毎に下記のプログラム登録ができます。

・フレーム(組立)再生登録	1 アドレス(接点端子) 4 データ max.
・リピート回数登録	1 アドレス(接点端子) 5 回 max.

■音声・音源データの録音・登録 と iMAX シリーズ用カードデータ作成

iMAX シリーズはクライアント自身で音声・音源データの登録・変更ができます。
 サポートソフト iMAX (ボイスナビエディタ) 上で音声・音源データ(WAVE ファイル)登録、接点端子・アドレスに登録します。
 その際、最大 8 データまでの組立再生・5 回までのリピート回数などのプログラム登録もできます。

iMAX シリーズはサポートソフト VoiceNavi Editor で作成したカードデータでも動作します。



■音源データ(WAVE ファイル)の用意

パソコン上でマイク・ライン入力による録音、スタジオ録音、テキスト音声変換ソフトなどにより音声・音源データ(WAVE ファイル)を作成または用意します。
 (適当なフォルダに収納しておきます)

■音源データ(WAVE ファイル)の登録

サポートソフト iMAX Editor の Sound 登録画面で使用予定の音声・音源データ(WAVE ファイル)を登録します。この際、試聴できます。

■入力端子・アドレス登録・プログラム登録

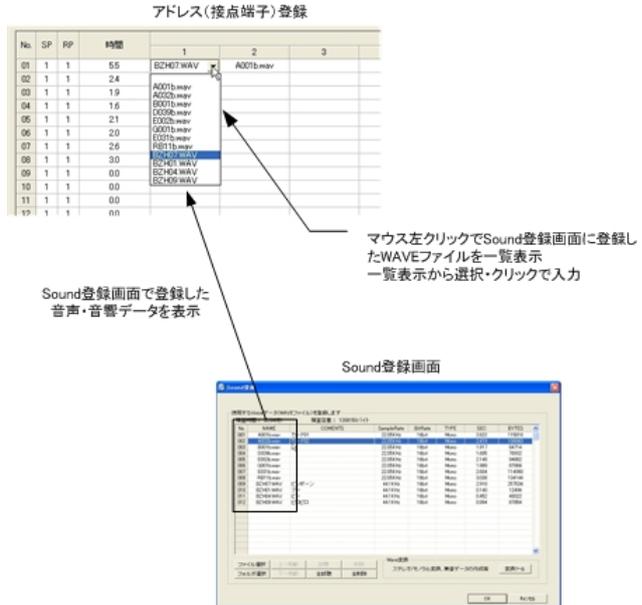
サポートソフト iMAX Editor の TOP 画面(アドレス登録・プログラム登録)で各端子(またはアドレス)に音声・音源データ(WAVE ファイル)を登録します。
 この際、1端子最大 8 データまでの組立再生、5 回までのリピート再生などのプログラム登録ができます。

ピンポン+音声メッセージなどの組立再生ができます。
 [サポートソフト iMAX Editor の TOP 画面]

[Sound 登録]



[アドレス・接点端子登録]



(注) 本書中記載の商品・社名は各社の商標または登録商標です。本書記載の仕様・概観は改良等により、予告なく変更になることがあります。